

平成 22 年 11 月 12 日
株式会社 山梨中央銀行

「地域密着型金融推進の取組状況」について

株式会社山梨中央銀行（頭取 芦澤 敏久）では、地域密着型金融の推進は、当行にとって恒久的な課題であるとの認識から、現在取り組んでおります中期経営計画「未来創造プラン2013」の諸施策を確実に展開していくことにより、地域密着型金融を推進しております。

今般、平成22年度上半期の活動状況及び成果を記載した「地域密着型金融推進の取組状況」をとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、内容は、当行ホームページ（<http://www.yamanashibank.co.jp/>）においてもご覧いただけます。

当行では、今後も地域密着型金融を推進し、地域経済・社会の発展、地域のお客さまへのサービスの向上に努めてまいります。

以 上

地域密着型金融推進の取組状況

(平成22年度上半期)

平成22年11月

山梨中央銀行

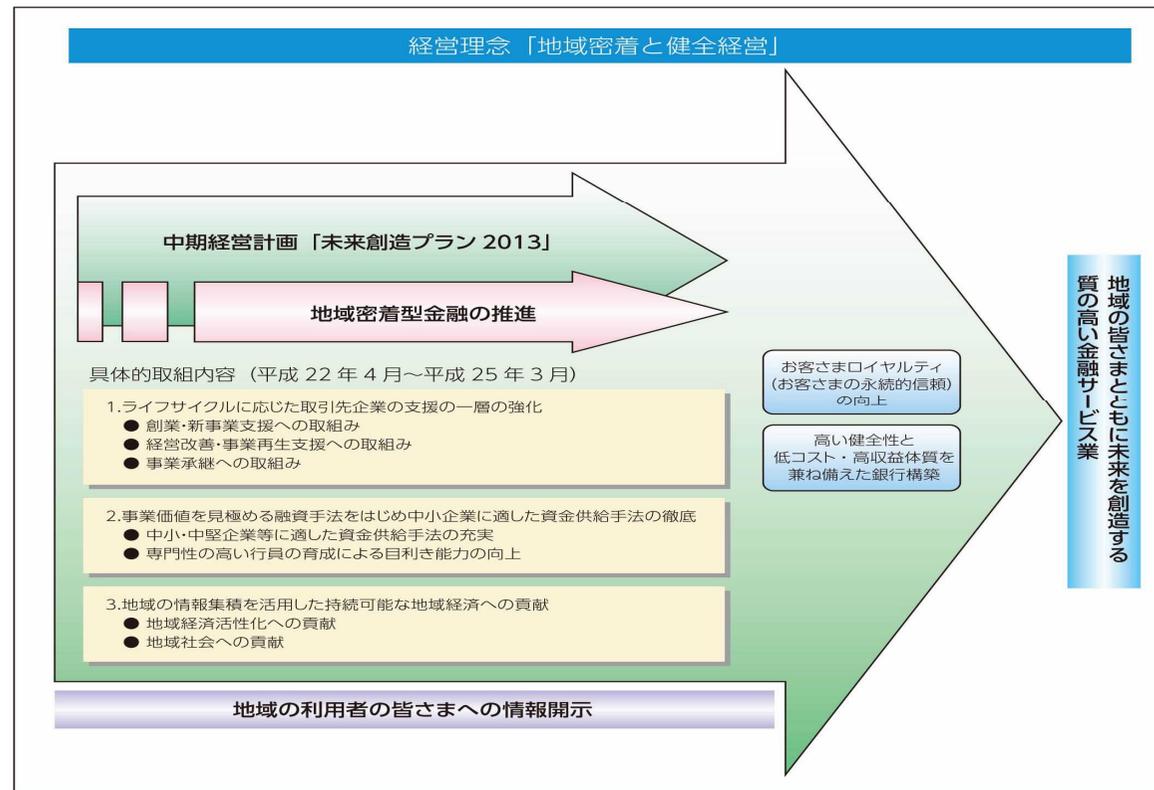
目 次

1. 地域密着型金融推進への取組みについて	1
2. 具体的な取組状況について	
(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	2
取組事例	4
(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	6
(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	7
取組事例	8

1. 地域密着型金融推進への取組みについて

地域密着型金融の推進は、当行にとって恒久的な課題であるとの認識から、現在取り組んでおります中期経営計画「未来創造プラン 2013」(平成22年4月～平成25年3月)の諸施策を確実に展開していくことにより、地域密着型金融を推進しております。

これらの取組みについて地域のみなさまにご理解いただくため、平成22年度上半期の活動状況及び成果についてとりまとめました。



2. 具体的な取組状況について

(1) ライフサイクルに合わせた取引先企業の支援の一層の強化

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成22年度上半期の取組状況
①創業・新事業支援への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○お客さまとの接点強化による創業・新事業に関するお客さまニーズの把握とコンサルティング機能の強化 ○創業関連融資の活用促進 ○外部支援機関との連携による創業・新事業に関する相談会、セミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○甲府商工会議所主催の創業に関する支援事業「創業塾」への参画や税理士団体との交流会開催などを通じて、創業・新事業に関するお客さまニーズの把握とコンサルティング機能の強化に努めました。 ○創業支援に関する取組みの強化を図るため、山梨県信用保証協会、山梨県商工会連合会等と連携し、山梨中銀創業支援ローン「ファインスタート」の活用を促進しました。 ○創業・新事業支援融資実績：(※1) 30件/118百万円
②経営改善・事業再生支援への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○山梨中銀経営支援コーディネートサービスの活用促進や各種相談会の開催によるビジネスマッチング機能の強化 ○本部専担部署の推進サポートによる業種別取引推進の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○「やまなし食のマッチングフェア2010」の開催や山梨学院大学および山梨学院短期大学との連携等による県産品取扱地域企業の販路開拓支援など、行内ネットワークを活用した質の高いビジネスマッチングを展開しました。 ○山梨大学発の技術シーズの情報発信や山梨大学が開催する「技術相談会」へ取引先企業を斡旋するなど製造業のお客さまに対するビジネスマッチングを展開しました。 ○行内ネットワーク・商談会活用によるビジネスマッチング件数：116件 ○関東経済産業局委託事業「中小企業応援センター事業」の実施機関として、山梨中銀経営支援コーディネートサービスの活用促進による最適なソリューション機能を提供しました。 ○山梨中銀経営支援コーディネートサービス提供件数：68件（うち事業案件：68件） ○医療・介護、農業、環境、観光、製造業などの成長が見込まれる分野のお客さまに対して、山梨中銀「成長基盤強化ファンド」の取扱いを開始し、活用を促進しました。 成長分野向け融資取扱実績 12件/815百万円 ○医療分野専担者による県内地区・西東京地区の医療機関への取組強化を図りました。 ○食品関連事業者の販路拡大を支援するため「やまなし食のマッチングフェア2010」を開催しました。 ○農業分野への参入を希望するお取引先に対して「農業参入支援サービス」等の活用による参入支援を実施しました。

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成22年度上半期の取組状況
	<p>○相談態勢の充実およびコンサルティング機能の積極的発揮による金融円滑化への取組強化</p> <p>○経営改善計画の策定やモニタリングを通じた経営改善・事業再生支援の実施</p> <p>○本部専担部署との取引先帯同訪問等を通じた営業店行員の支援能力レベルアップによる支援態勢の強化</p>	<p>○金融円滑化への取組みを強化するため本部に専担者を配置したほか、「金融円滑化ご相談窓口」の継続設置による相談態勢の充実を図りました。</p> <p>○金融円滑化専担者による営業店への臨店指導を通じ、経営改善支援取組先とは別に「金融円滑化支援先」を60先選定し、計画策定支援に取組むなど経営改善支援態勢の幅を広げました。</p> <p>○住宅ローン利用のお客さまを対象とした「休日返済相談会」を開催したほか、本部による個人ローンに関する営業店支援を実施するなど金融円滑化への取組みを強化しました。</p> <p>○経営改善支援取組先への定期的なモニタリングの実施などPDCAサイクルに基づいた管理態勢により経営改善支援態勢の強化を図りました。</p> <p>○期初の正常先を除く債務者数（※2）2,696先のうち経営改善支援へ取り組んだ先は47先あり、このうち38先について再生計画を策定しました。なお、経営改善支援取組先のうち3先の債務者区分がランクアップしました。したがって、経営改善支援取組み率（経営改善支援取組み先÷期初債務者数）は1.7%、再生計画策定率（再生計画を策定した先数÷経営改善支援取組み先）は80.9%、ランクアップ率（期末に債務者区分がランクアップした先数÷経営改善支援取組み先）は6.4%となりました。</p>
<p>③事業承継への取組み</p>	<p>○外部関係機関との連携による事業承継に関するお客さまのニーズ喚起と相談態勢の強化</p> <p>○山梨中銀経営コンサルティング(株)と連携した事業承継に関するサービスの提供とコンサルティング機能の強化</p>	<p>○山梨中銀経営コンサルティング(株)と連携し、事業承継に関するコンサルティングニーズの発掘に努めました。</p> <p>○税理士団体等との業務提携により事業承継に関する取組みを強化しました。</p> <p>○山梨中銀経営コンサルティング(株)および外部専門機関との連携により事業承継に関するコンサルティングを提供する「事業承継支援サービス」の活用を促進しました。</p> <p>事業承継支援サービス取扱実績：13件</p>

(※1) 創業・新事業支援に関する、当行独自の融資商品、山梨県・東京都等の制度融資の実績

(※2) 期初債務者数は、平成22年度期初の要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の合計

取組事例

● 山梨中銀「成長基盤強化ファンド」の取扱開始

当行では、医療・介護、農業、環境、観光、製造業などの成長が見込まれる分野のお客さまへの支援の充実を図るため、山梨中銀「成長基盤強化ファンド」の取扱いを開始いたしました。

当行は、既にお取り扱いしております制度融資や私募債等に加えて、本ファンドによる資金面での支援を通じて、医療・介護、農業、環境、観光、製造業などの成長分野に取組む事業者の皆さまへの支援を一層強化し、地域経済の発展に貢献してまいります。

● 「やまなし食のマッチングフェア 2010」の開催

農・食品関連事業者のみなさまに、県内外の仕入企業のみなさまとの商談機会をご提供することで販路開拓・拡大を支援し、地域経済の活性化を図るため、7月22日に展示商談会「やまなし食のマッチングフェア2010」を開催いたしました。

「やまなし食のマッチングフェア」は5回目の開催となりますが、今年の総来場者数は約1,200名、商談件数は1,500件を超え、事業者のみなさまの販路拡大、ネットワーク拡大支援につながっております。

Yamanashi Chuo Bank

山梨中銀 成長基盤強化ファンド

山梨中央銀行は、さまざまな成長分野のビジネスに関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

【 資金ニーズ例 】

医療・福祉施設建設資金	高齢者賃貸住宅建設資金	省エネ設備導入資金	観光施設建設資金	事業再編資金・M&A資金
アジア諸国での事業展開資金	コンテンツ・クリエイティブ事業の開発資金	保育・育児事業資金	新事業進出資金	中古・リフォーム市場の整備資金
耐震設備等の防災対策資金	太陽光パネル設置工事資金	産学官連携による新技術・新製品開発資金	etc...	いろいろなニーズにご利用いただけます。

地域の成長に貢献することを目的として、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給（新貸出制度）」の取扱いに附した新たな融資商品です。本制度を通じて、地域を元気にし、成長力を高める活動に、さらに積極的に関与してまいります。

山梨中銀「成長基盤強化ファンド」の概要

対象期間	2010年度（本年度および成長分野向けのその他の貸出金等の合計となります）		
取扱期間	平成22年8月28日（水）～平成24年3月30日（金）		
融資対象者	法人または個人事業主の皆さま		
資金使途	成長基盤強化分野への取り組みに係る運転資金・設備資金 ※新規に融資に限りません		
ご融資金額	1,000万円以上	運転資金	1年超10年以内
ご融資利率	※1年以内の標準利率をみます		
ご融資料率	当行所定の手料（固定金利または変動金利）		
担保・保証人	個別の審査となります		
保 険	信託保証基金をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。		
※審査の結果、ご希望にそえない場合は、あらかじめご了承ください。			
※取扱期間終了前でも実行総額が200億円を超えた場合は取扱いを中止する場合がございます。			

＜TEL＞は当行本店の窓口または担当部署にお問い合わせください。 平成22年8月28日現在

山梨中央銀行 担当 TEL



「やまなし食のマッチングフェア 2010」の開催模様(22.7.22)

取組事例

● 「中小企業応援センター事業」の実施

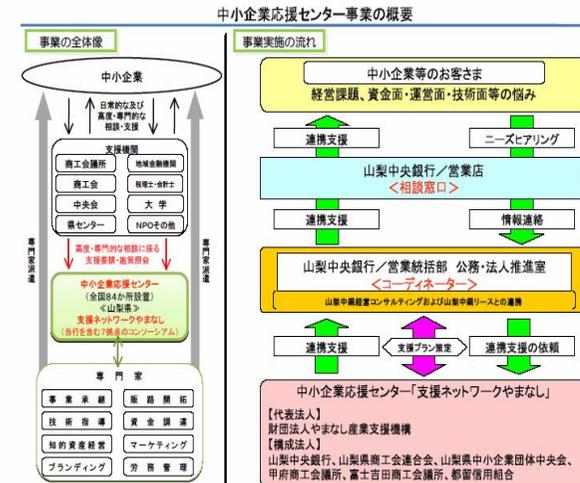
経済産業省の委託事業である「中小企業応援センター事業」の実施機関として、当行が参画する「支援ネットワークやまなし」が認定されております。

中小企業応援センター事業は、地域において中小企業の支援に関する専門的な知識、能力および経験を有する者を「応援コーディネーター」として実施機関が選定し、当該コーディネーターが中心となって、中小企業等が直面する課題に対して、高度・専門的な支援を行なう事業です。

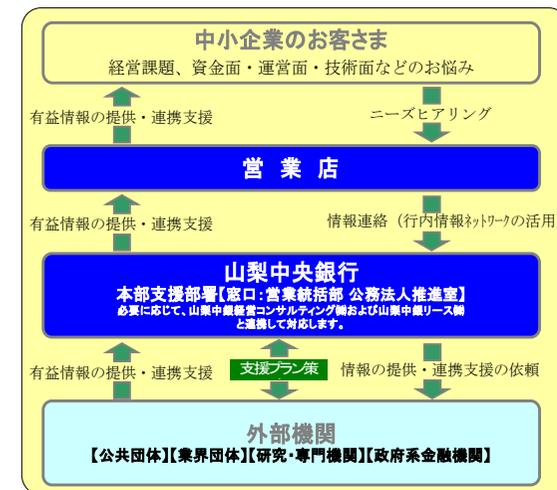
応援コーディネーターが中心となり、地域の支援機関等とのつながりを活かして、悩みを抱えるあるいは新しいことをはじめたい中小企業等のお客さまに対して、その課題解決に適した専門的なサポートを提供しております。

● 山梨中銀経営支援コーディネートサービスの取扱い

本サービスでは、当行グループと外部機関とのネットワークを活用し、お客さまが抱える経営課題等に応じて、その解決に適した機関の紹介、支援メニューの組み合わせ、および利用提案、各外部機関等と一体となった解決までのきめ細かなサポートを提供しております。



【中小企業応援センター事業】



【山梨中銀経営支援コーディネートサービス】

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成22年度上半期の取組状況
① 中小・中堅企業等に 適した資金供給手法 の充実	○動産・債権譲渡担保融資等、 保証、不動産担保に依存しない 融資の拡充	○スコアリングモデルを活用した融資商品、流動資産担保融資の活用促進等の保証、不動産担保に依存しない融資の拡充に努めました。 スコアリングモデルを活用した融資商品の取扱実績 5件／14百万円 流動資産担保融資の上半期取扱実績なし
	○私募債の受託等、資金調達手段 多様化への取組強化	○医療・介護、農業、環境、観光、製造業などの成長が見込まれる分野のお客さまに対して、山梨中銀「成長基盤強化ファンド」の取扱いを開始し、活用を促進しました。 成長分野向け融資取扱実績 12件／815百万円 ○私募債等多様な資金供給手法の推進強化に努めました。
	○信用保証協会、政府系金融機関等との連携による資金供給 手法の拡充および活用	○甲府法人会、山梨県信用保証協会との連携による提携ローンの活用を促進しました。 ○景気対策緊急保証制度を中心とした信用保証協会保証付融資の活用を促進しました。 ○税理士団体等との連携による融資推進を強化しました。
② 専門性の高い行員の 育成による目利き能力の 向上	○「融資エキスパート養成研修」 などの行内研修や外部機関への 研修派遣による専門性ある 人材の育成	○「融資エキスパート養成研修」などの専門性の高い行員育成のための研修を実施しました。 ○行員が自ら学ぶ風土を醸成することを目的とした「融資自己啓発塾」の活動を継続実施しました。 ○地方銀行協会の専門性の高い派遣研修として、「企業再生実務講座」、「金融法務講座」等へ派遣しました。 ○中小企業診断士の養成を図るため、中小企業大学校「中小企業診断士養成課程」へ派遣しました。
	○お取引先企業との定期的、継続的 なコミュニケーションを通じた 目利き能力の向上	○経営改善支援取組先への定期的なモニタリングの実施などPDCAサイクルに基づいた管理態勢のもと、お取引先企業との定期的、継続的なコミュニケーションを通じた目利き能力の向上に努めました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

重点事項	中期経営計画3年間の取組目標	平成22年度上半期の取組状況
① 地域経済活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな地域連携体制の構築などによる地域連携の一層の充実・拡大 ○産学官金連携による地域産業の育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○関東経済産業局委託事業「中小企業応援センター事業」の実施機関として、山梨中銀経営支援コーディネートサービスの活用促進による最適なソリューション機能を提供しました。 山梨中銀経営支援コーディネートサービス提供件数：68件 (うち「中小企業応援センター事業」案件：68件) ○「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！」を発行しました。(22-3号～22-5号) ○山梨大学発の技術シーズを情報発信しました。 ○地域お取引先企業の事業発展や地域経済活性化、地域振興につながる取組みを積極的に展開するため、山梨学院大学および山梨学院短期大学と業務提携しました。
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活性化プロジェクト等地域づくりへの参画 	<ul style="list-style-type: none"> ○山梨県が実施する「中央道沿線広域産業連携推進事業」へ参画し、地域のものづくり企業の育成強化を図りました。 ○甲府市中心市街地活性化プロジェクト「中心市街地再生モデル事業」、「まちなか賑わい事業」、「商店街活性化事業」へ参画しました。 ○山梨県が実施するPFI事業への参加に向けた取組みを積極的に行いました。
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活性化につながるビジネスマッチング機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品関連事業者の販路拡大を支援するため「やまなし食のマッチングフェア2010」を開催しました。 ○行政施策に連動した地域経済活性化支援の連携に向けて、山梨県内各市町村との情報交換を実施しました。
② 地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○金融経済教育への積極的な取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○山梨大学において金融講座を開催しました。(2回) ○当行金融資料館において「夏休み親子体験ツアー～親子で、お金について勉強しよう!～」を開催しました。 ○“やまなしこどもの城フェスタ”へ「こども銀行」を出展しました。

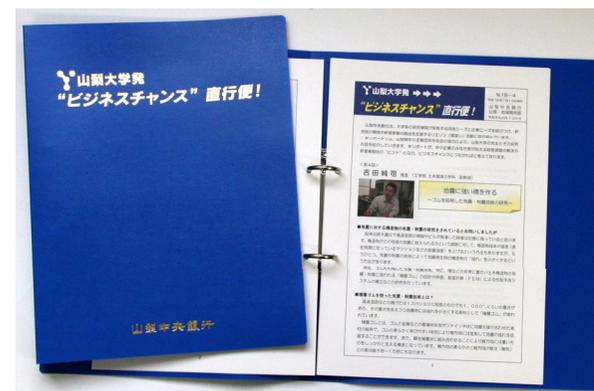
取組事例

● 「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！」の発行

当行は、大学等の研究機関が保有する技術シーズと企業ニーズを結び付け、新技術の開発や新規事業の創出を支援する産学官連携活動に取り組んでおります。その一環として、国立大学法人山梨大学に在籍する教授の研究内容を紹介した「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！」を発行しております。

平成22年4月～22年9月には、3件のレポートを発行しました。

本レポートを通じて、お取引先企業等から研究内容に関する問い合わせが寄せられたり、技術相談のため大学教授と面談したいとのご依頼をいただくなど、産学官連携のきっかけづくりとなっております。



● 大学における金融講座の開催

当行では、地域社会への貢献活動の一環として、社会・経済の動向に関する見聞を広めるとともに、今後の資産形成・起業の際に必要な知識を高めていただくことを目的に、金融に関するテーマを中心とする講座を地元の大学において開設しております。今後もこの取組みを拡大し、地域金融機関としての役割を積極的に果たしてまいります。



【金融講座】

取組事例

● 山梨中銀金融資料館における親子体験ツアーの開催

山梨中銀金融資料館では、当行をはじめとする県内金融史に関する文献や古代から現代に至る貨幣など貴重な資料を豊富に展示しております。

当行では、夏休みの期間中、金融資料館へ親子でご来館いただいたお客さまを対象として「夏休み親子体験ツアー～親子で、お金について勉強しよう!」を開催し、金融資料館の貴重な文献や資料をご覧いただくことを通じて、親子の皆さまにお金についての理解を深めていただきました。



【親子体験ツアー】